科目ナンバリング	U-LAS30 10033 SJ11						
授業科目名<英訳>	情報AI基礎演習［工学部］（理工化学科） Practice in Basics of Informatics and AI (Faculty of Engineering) [Chemical Science and Technology]			担当者所属職名・氏名	工学研究科　准教授　古谷　勉 工学研究科　講師　殿村　修 工学研究科　助教　出垣　大貴		
群	情報学科目群			分野(分類)	(基礎)	使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	火3	配当学年	主として1回生	対象学生	理系向

[授業の概要・目的]

本演習では，パーソナルコンピュータ（PC）の基本的な使用法（Windowsシステム・UNIXシステム）を初めとして，電子メール，テキストエディタやLaTeXによる文章作成，HTMLによるWEBページの記述，gnuplotによるグラフ作成，Octave・MAPLEによるプログラミング，Word・Excel・PowerPointによる資料作成などについて，教育コンピュータシステムのPC端末を用いた演習を行う。また，生成AIの基本的な使用法や注意点について解説すると共に，生成AIの実践的な演習を行う。授業回数はフィードバックを含め全15回とする。

[到達目標]

コンピュータの基本的な使用方法に習熟し，コンピュータによる文章作成，情報検索，プログラミング，生成AI活用などのコンピュータリテラシーを身に付ける。

[授業計画と内容]

以下の項目について，1項目当たり1~2回の演習を行う。授業回数はフィードバックを含め全15回とする。

1. 計算機の基本的な使用法：PC端末の起動と終了（Windowsシステム・UNIXシステム），ログインとログアウトなど，最も基本的な使い方についての演習を行う。また，パスワードの変更など，PC端末を使用する上での注意事項を述べ，それについての演習を行う。

2. 電子メールと情報検索：電子メールの設定を行うと共に，電子メールの送受信方法，署名や添付ファイルの扱い方についての演習を行う。また，インターネットを活用した情報検索（蔵書検索，文献（電子ジャーナル）や特許の検索など。図書担当者による情報検索講義を含む。）についての演習を行う。

3. UNIXシステムの基礎：UNIXシステムを利用する上で重要な，X Window System（あるいはWayland），ファイルシステム，およびシェル操作についての演習を行う。

4. AIの基礎：生成AIの基本および使用上の注意点について述べ，生成AI（Gemini）を用いた基本演習を行う。また，以下の項目で，生成AIの実践的な演習を補助的に導入する。

5. WEBブラウザとHTML：HTMLおよびCSSの基本について解説し，ウェブサイト（ホームページ）作成についての演習を行う。

6. グラフ作成：gnuplotによる最小二乗法，グラフ作成についての演習を行う。

7. プログラミング基礎：Octaveによる数値計算，プログラミングや，MAPLEによる数式処理，数値計算，プログラミングについての演習を行う。

情報AI基礎演習［工学部］（理工化学科）(2)へ続く↓↓↓

情報AI基礎演習［工学部］ （理工化学科）(2)

8. Excel演習：Excelによる表計算，統計解析，およびグラフ作成についての演習を行う。

9. 文書作成：テキストエディタEmacsの利用や，LaTeX，Wordによる文書作成方法についての演習を行う。

10. PowerPoint演習：PowerPointによるプレゼンテーション資料作成についての演習を行う。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

講義計画に掲げる内容について，それぞれ習熟したことを演習中に提示する課題によって評価する。試験は実施しない。

[教科書]

京都大学工学部電気電子工学科 情報基礎演習担当教員 『情報基礎演習』（京都大学生協）

[授業外学修（予習・復習）等]

教科書によって予習を行うこと。

[その他（オフィスアワー等）]

情報環境機構が提供する情報セキュリティe-Learningを必ず受講し、修了テストを受けた上で、同テストのフィードバックを確認しておくこと。授業内では受講のための時間は設けないので授業時間外に受講しておくこと。同e-Learningは学生も含めた本学の全構成員に対して毎年受講が求められているものである。2回生以上で過去の年度に受講した場合でも今年度まだ受講していないのであれば必ず受講すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]